

伝統の強歩 163人が力走

蘇南高

蘇南高校はこのほど、南木曾町内で強歩大会を開いた。昭和38年から続く伝統行事で、1〜3年生と小幡正樹校長の163人が走りたり、歩いたりして、木曾川右岸を経て、町を踏破した。

大会を開いた。昭和38年から続く伝統行事で、1〜3年生と小幡正樹校長の163人が走りたり、歩いたりして、木曾川右岸を経て、町を踏破した。



スタート直後の下り坂を力走する生徒たち

男女別順位では男子1〜3位、女子1〜8位をバドミントン部が独占し、強豪としての

意地を見せた。男子1位となった伊藤雄大君（16）は「下り坂でタイムが伸びなかったが、順位は満足」と喜んだ。女子1位の三石くるみさん（16）は「右岸を走るの初めて。すれ違う時に先輩たちが応援してくれて頑張れた」と振り返った。同校サッカー部OBで、男子40位の力走をした小幡校長は「途中は苦しいかもしれないが、完歩する達成感を味わってほしい」と話していた。

（細野はるか）